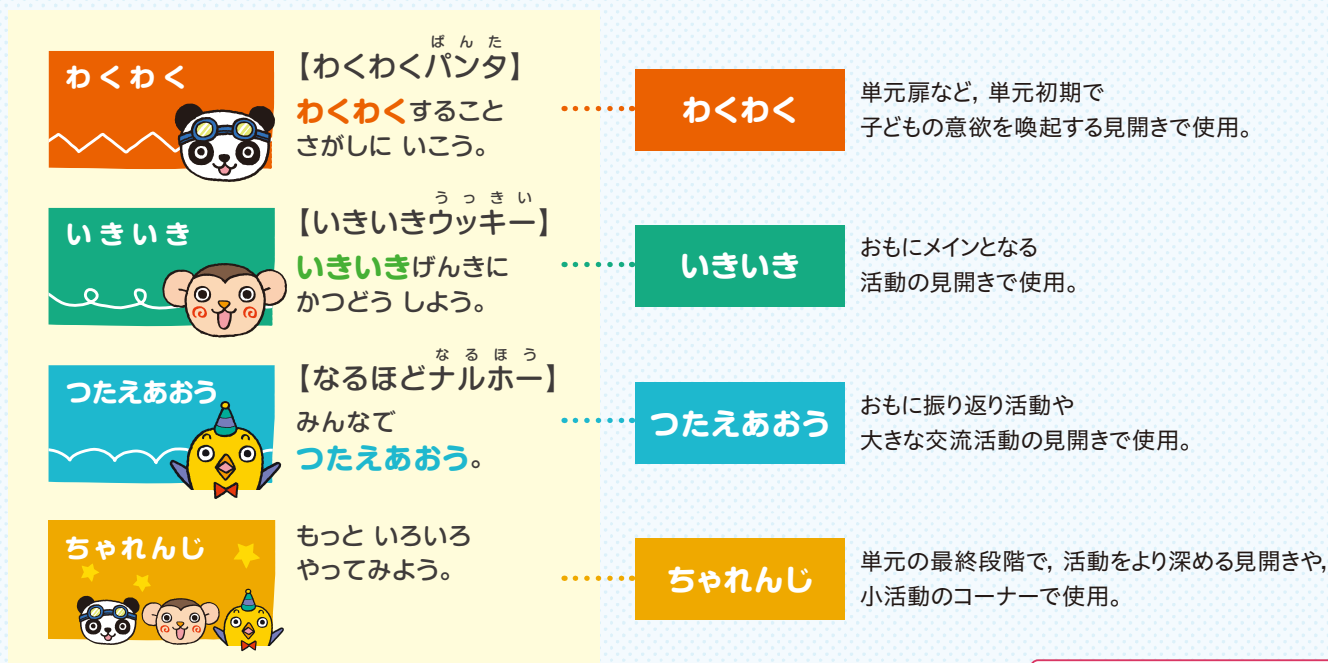


# 生活科における学力

## 活動の流れの明確化

子どもの思考が自然に流れるように紙面構成を工夫し、  
4ステップで活動やストーリーを見て取りやすくなるように工夫しました。

各単元（活動のまとまり）を、「わくわく」（導入）、「いきいき」（主となる活動）、「つたえあおう」（振り返り交流する場）、「ちゃれんじ」（広がり・深まり）という4段階の展開とし、学習の深まりをわかりやすくするとともに、子どもにも理解できる表現にしました。



4段階のステップで  
活動の深まりを演出します！





## 活動のスパイラル(次につなげるやり取り)

子どもの活動は、「やって終わり」ではありません。  
活動の中で「もっとこうしたい」など子どもの思い・願いを次の活動につなげるように、  
紙面右下で子ども同士のやり取りを適宜設定しています。

上巻 P.90



上巻 P.89



上巻 P.88 ~ 89



上巻 P.87



上巻 P.86 ~ 87





# 気付きの質を高める学習活動

子どもの気付きを重視し、それを質的に高めるための  
学習活動を豊富に盛り込みました。

上巻 p.88 ~ 89



よく見て見つけた事

見つけた事を  
自分なりにたとえています

巻末資料（下巻 p.108-111）や別冊（p.4-5,18-21）などの資料ページでも、  
子どもの学習活動のヒントになるものを多く掲載しています。



下巻 p.108 ~ 109

下巻 p.110 ~ 111



加えて、子ども自身が成長を実感できるように、紙面を工夫しています。



たんけんブック (p.48-49) では、  
1年生、2年生それぞれの学年末などで  
振り返りを書きこませることで、成長を実感させ、  
また、このたんけんブックが「自分の本」として  
愛着がもてるようにしました。